

芸道40年の感謝をこめて!

第9回



神田紅独演会

かん
だ
くれ
ない

芸道40年の軌跡・お宝映像上映!



古典講談二席

赤穂義士伝より
「南部坂雪の別れ」
長講「お富与三郎」



ゲスト

三遊亭小円歌



三味線漫談

芸道40年記念
DVDを制作いたします。
料金4000円(送料込)
チケット・DVDの申込みは
☎クロスポイントへ

◆日時 平成29年(2017年)
9月27日(水) 開場 18:00
開演 18:30

◆処 国立演芸場

東京都千代田区隼町4-1 ☎03-3265-7411(代)

◆木戸銭 4,000円 ※全席指定



問合せ・申込み

(株)クロスポイント ☎03-3586-5020 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-8-13-701 (平日11時~18時)

協力: NPO法人金印倶楽部 ☎092-737-5430 〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-10-21-901

ご挨拶

昭和54年（1979年）二代目神田山陽師匠に出会い講談の世界に身を置いて早38年。その前の女優時代も入れて、今年は「芸道40年」になりました。

無我夢中で走って来た日々でしたが、ここまで続けて来られたのは支えてくださった多くの皆様方のおかげでございます。心より感謝申し上げます！

様々な講談を創作し紅流に挑戦を続けてきた40年の節目です。今回は新作ではなく、お馴染みの古典講談でお付き合いくださいませ。

古典講談二席は、赤穂義士伝より「南部坂雪の別れ」と、亡き師匠に最初に教わった世話物「お富与三郎」です。後に講談本より前後をつけ加え、長講「お富与三郎」に致しました。

開口一番は芸道40年の歩みを映像でご覧いただき、ゲストには、たちはなやまのすけ立花家橘之助二代目を11月に襲名する女流三味線漫談家・三遊亭小円歌師匠に華を添えていただきます。

紅の挑戦はこれからも続きます。今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。



神田紅

神田紅プロフィール

福岡出身。早稲田大学中退。文学座附属演劇研究所を卒業後、一旦女優となるも、二代目神田山陽師匠に出会い弟子入り。1989年真打昇進、古典と同時に創作講談や芝居講談を手がける。明るく解かりやすい芸風で人気者となり、八面六臂の大活躍。2008年、小惑星(12769)が[kandakurenai]と名付けられる。日本講談協会会長 NPO法人金印倶楽部理事 <http://kandakurenai.com/>

上演時間割

18:30 ~ 18:55

DVD「芸道40年お宝映像」

18:55 ~ 19:25

「南部坂雪の別れ」

仲入り

19:40 ~ 20:00

三味線漫談・三遊亭小円歌

20:00 ~ 20:50

長講「お富与三郎」



演目

◆DVD上映

『芸道40年の軌跡・お宝映像』

なかにしゆうじ中原鐘子の芸名でデビューした女優時代から始まり、1979年に神田紅となつて講談界に新風を巻き起こし、以後二代目神田山陽師匠に「講談には無限の可能性がある」と励まされ、様々な創作講談に挑戦。芝居講談、宇宙講談、歌つて踊つてミュージカル講談、ヒップ・ホップ講談・・・等々、見魅せる講談を追求し続けて来た、この40年の渾身の軌跡を映像にまとめました。

◆神田紅

『南部坂雪の別れ』

数ある赤穂義士伝の中から、女たちの忠臣蔵として有名な演目。大石内蔵助が揺泉院の元を訪れ、忠義の心は失せたとどうそぶく腹芸が見どころ。土産がわりの連歌のつづりこそ・・・！

仲入り

◆ゲスト◆三遊亭小円歌

三味線漫談

現代の寄席では数少ない女流三味線漫談家。寄席踊りの名手。舞台「たぬき」で山田五十鈴さんが演じた立花家橘之助たちはなやまのすけ二代目を今年11月に襲名！

◆神田紅

長講『お富与三郎』

嘉永6年（1853年）三世瀬川如卓作で、歌舞伎では与話なやまのすけ情浮名横柳で有名な作品。長唄の家元四世芳村伊三郎の若い頃の逸話を脚色した講談が元とされています。最後に依田豊前守がお富を裁くところから、講談では依田雁金という題の連続講談。

江戸幕府の医師・岡本玄治法眼の受領地・玄治店（人形町）が舞台となつた玄治店の場面が知られていますが、言い立てでは「玄治店！」とは言わずに、わざと「源氏店！」と言い換えています。